

9月定例市議会市長記者会見

9月補正予算の概要

「安心と希望に満ちた活力ある都市 福山」

の実現をめざし、市民の多くの声をしっかりと受け止め、

- ・ 多様な人々が集い、交流する地域の拠点づくり
- ・ 少子化対策・子育て支援の充実や高齢者の生きがいづくり
- ・ 都市の発展を支える基盤づくり

に一層注力する

新たな「5つの挑戦」 をスピード感を持って推進

挑戦1 希望の子育て、安心の医療・福祉の実現

- ・若い世代が望む結婚・出産・子育てができるよう、支援の強化と働き方改革を進める。
- ・地域完結型医療の実現に取り組むとともに、高齢者の社会参加を促すため、介護予防や生活支援を強化する。

(9月補正対応分)

- ⑧ネウボラセンター設置などに向けた調査研究 5,000千円 (P6 通常分1)

※ネウボラセンターとは

- ・子育てに関連する機能を集約
- ・屋内遊戯場を併設



イメージ

挑戦2 都市の活力・地域の魅力の向上

- ・まちづくりの軸足を各地域の拠点づくりに移し、地域が主役となって、魅力とにぎわいを創出するための取組を本格化する。
- ・都市基盤の整備を着実に進めるとともに、福山駅周辺におけるウォーカブルなまちづくりや世界バラ会議福山大会の成功に向けた取組を強化する。

(9月補正対応分)

- 松永駅・神辺駅周辺のにぎわい再生 2,200千円 (P7 通常分8)
機運醸成を図るシンポジウムなどを開催
- 新今津高西線の事業化に向けた取組 3,000千円 (P7 通常分5)
事業認可図書の作成
- 新しおまち海道のナショナルサイクルルート指定に向けた取組 441千円
(P8 通常分11)
(仮称) 鞆の浦しおまち海道サイクリングロード振興協議会を設置
- 福山駅周辺のウォーカブルなまちづくりの推進 3,000千円 (P7 通常分7)
民間事業者による滞在快適性を向上させる施設整備の支援



挑戦3 地域経済の活性化・防災力の向上

- ・ 市内企業の人材確保を支援する。また、エフピコRiMの更なる利活用や産業用地の確保などにより、活力ある地域経済の実現をめざす。
- ・ あらゆる自然災害から市民の生命と財産を守るよう、防災力の向上を図る。

(9月補正対応分)

- **グリーンな企業プラットフォームに参画する企業の拡大及び取組の加速** 9,254千円 (P7 通常分4)
情報発信の強化、企業の実践グループ立ち上げ支援
- **新エフピコRiMの更なる利活用** 6,547千円 (P7 通常分7)
中長期的な在り方の検討に向けた調査
- **漁業振興のための海洋環境の改善** 5,000千円 (P7 通常分6)
海底の底質改善に向けた「かき殻」散布



挑戦4 未来を支える人材の育成

- ・ (仮称)子ども未来館の整備や福山市立大学情報工学部の開設を着実に進める。
- ・ これからの日本・世界をリードする人材を育成するため、若い世代の革新的・先駆的取組を発掘・顕彰する。

(9月補正対応分)

- **新小中学校屋内運動場への空調設備整備 19,200千円 (P6 通常分2)**
今後4年間で基幹緊急避難場所に指定された24校に設置
- **(仮称)子ども未来館プロジェクトの推進 26,300千円 (P6 通常分2)**
(仮称)子ども未来館の配置やエリア全体の駐車場の整備、
五本松公園再整備の計画等を検討
- **福山市立大学新学部設置に向けた取組 203,600千円 (P6 通常分3)**
施設整備候補地の用地取得、施設整備に係る設計・施工業務など



挑戦5 歴史・文化、スポーツのまちづくり

- ・ 歴史・文化資源の魅力を発信し、後世に引き継いでいくことで地域の誇りを高め、にぎわいにつなげる。
- ・ 誰もが身近で気軽にスポーツができる環境を整備する。

(9月補正対応分)

- ⑧伏見櫓・筋鉄御門・吉備津神社本殿・沼名前神社能舞台の国宝化に向けた取組 5,800千円 (P8 通常分10)
 - ・ 期成同盟会の設立
 - ・ 機運醸成に向けたシンポジウムの開催
 - ・ 伏見櫓及び沼名前神社能舞台の年代調査



①福山大会MICEボランティアについて

● ボランティア登録人数

207 人 / 募集人数 150人

● 活動区分内訳

一般：**123**人 語学：**78**人 救護：**6**人

● 年代等

10～80代、市外在住者25人が登録

● 8月～ ボランティア研修スタート



4月～7月 ボランティア募集説明会

みんなで創る“世界バラ会議福山大会”

②市民・企業提案型事業(追加募集)採択団体決定について

● 採択件数 計**33**件

新商品開発

ばら×お菓子

ばら×福山の名産品

など**8**件

御朱印帳



イベント実施

ばら×伝統芸能

ばら×ミュージカル

など**23**件

二上り踊り



記念作品制作

ばら×おもてなし作品

など**2**件

折りばら帽子



《参考》既採択件数**109**件

新商品開発**26**件、イベント実施**36**件、記念作品制作**6**件
※その他スクールローズガーデンプロジェクト**41**件

9月定例市議会市長記者会見

福山駅周辺再生に向けた官民連携の取組

郊外への大規模
商業施設の立地

駅前で魅力的な
商業施設が撤退

魅力とにぎわいの低下

空き店舗や空き地の増加

備後圏域の玄関口である福山駅周辺を市内外から
人や企業を惹きつける魅力あるエリアとして再生

2018年(平成30年)3月

「福山駅前再生ビジョン」

駅周辺のめざす姿を官民で共有

ビジョンの実現に向けて

2020年(令和2年)3月

「福山駅周辺デザイン計画」

官民で連携してハード・ソフトのプロジェクト
を実施

- ・ リノベーションまちづくり
- ・ 中央公園パークPFI
- ・ エフピコRiMリノベーション再生事業
- ・ 福山駅北口スクエア
- ・ 旧キャスパ跡地の再生 など



人と人、人と街、人と持続可能な成長を。

COMMUNITY	みんなが集まり
ACTIVE	元気に活動し
SUSTAINABLE	持続可能な
PUBLIC	誰もが参加できる
ASSOCIATE	仲間をつくる

9月1日グランドオープン



集大成となる駅前広場整備

交通結節機能



人の集まる
にぎわい機能



福山らしい豊かな
暮らしを実現する駅前広場



今後の予定

9月4日 福山駅前広場協議会

9月25日～10月25日 駅前広場実証実験

2025年3月
基本計画策定

2025年度以降
調査・設計・施工

南海トラフ地震に対するソフト対策

①地震対策

○日頃の備えについて周知啓発

市ホームページ、広報ふくやま、各種イベントなどで情報発信

- ・各家庭での備蓄の重要性…非常時持ち出し品の準備、ローリングストックの推奨
- ・災害発生時の適切な行動…シェイクアウト訓練、緊急避難場所の確認



DROPI



COVER!



HOLD ON!

シェイクアウト訓練

○地震に対応する緊急避難場所の指定

- ・地震に対応する緊急避難場所を155か所指定
うち24か所は民間のグラウンドや駐車場

南海トラフ地震に対するソフト対策

②津波対策

○津波ハザードマップの作成

- ・津波ハザードマップ（南海トラフ地震想定）を作成し、内容を周知・啓発（2013年度）

○津波に対応する緊急避難場所の指定

- ・津波に対応する緊急避難場所を175か所指定
うち50か所は民間の事務所や立体駐車場

○津波避難計画の策定

- ・専門家を招聘した研修会及び避難訓練を内閣府と連携して実施（2022年度）
- ・津波避難の対象42学区・地区における津波避難計画の策定（2023年度から）
※7月末時点で30学区・地区が策定済。2024年度末で全学区・地区が完成予定



内閣府連携研修会

南海トラフ地震に対するソフト対策

③共通の対策

○全市一斉総合防災訓練の実施

- ・南海トラフ地震を想定した全市一斉総合防災訓練の実施（毎年11月第4日曜日）
- ・各学区・地区の自主防災組織が地震・津波からの避難訓練を実施
- ・完成した津波避難計画に基づいて避難訓練を実施し、計画内容を検証
- ・2023年度は約3万人の市民が参加



総合防災訓練

○災害備蓄の充足

- ・福山市災害備蓄方針を作成し、目標を上回る備蓄状況
- ・市内76か所の基幹緊急避難場所及び13か所の備蓄倉庫に備蓄物資を配備



備蓄倉庫

○情報伝達手段の多重化・多言語化

- ・全ての人に適切に情報を届けるため、情報伝達手段を多重化・多言語化し、迅速確実な伝達体制を構築

○受援体制の確立

- ・受援計画の策定・見直し
- ・県内市町等との相互応援協定、民間事業者との災害時応援協定の締結